

## 令和7年度第1回 広島市景観審議会夜間景観検討部会 における主な意見

### 1 歴史的建造物や展望台の追加に関する意見

- ・ 歴史的建造物：被服支廠〔真木委員〕、広大跡地〔高田委員〕
- ・ 展望台：平和大通りを望む比治山公園と西広島駅に至るアストラムラインの車窓等〔吉田委員〕、おりづるタワー〔真木委員〕や再開発高層ビル（可能であれば）〔角倉部会長〕など取組成果が見える近傍の視点場

### 2 全体のあり方を考えていく上での意見

- ・ やれることが多い。夜だからこそできることがある。何をみせるかどうみせるかなど、可能性を感じている。〔真木委員〕
- ・ 景観体験として、絵になるシーン景観、シークエンス景観を創り出す積極的な景観づくりについて検討できると良い。〔真木委員〕
- ・ 広島を特徴付ける夜間景観の形成が重要で、広島にはそのポテンシャルがある。その中でも「水と緑」が夜間照明のキーワードになるのではないかと。〔吉田委員〕
- ・ 川辺の景観づくりが非常に大事。川沿いを歩くとシークエンス景観となる。〔吉原委員〕
- ・ ライトアップするだけでなく、それを誰が見るのかとそれを見る場（環境）のことも一緒に検討する必要がある。〔吉原委員〕
- ・ 問題点全ての対応は現実的にできないという中で優先順位をつけるのであれば、「平和」からつながる「水と緑」への展開が最優先されるのではないかとと思うので、その辺りをしっかりとやってみてはどうか。〔吉原委員〕
- ・ 市全体の方向性について考えていかなければならない。〔真木委員〕